

第 2 9 2 回 日本体育大学長距離競技会

【出場結果】

実施日 : 11月13日(土) 10000m 14日(日) 5000m

会場 : 日本体育大学健志台陸上競技場

出場者 : 親崎 達朗 小林 航央 関口 大樹

出場種目・出場者・リザルト

氏名	親 崎	小 林	親 崎	関 口
種目	10000m	10000m	5000m	5000m
組	5 組目	5 組目	25 組目	21 組目
タイム	29'07"26 自己ベスト	28'59"47 自己ベスト 新電元歴代 3 位	14'10"23 自己ベスト	14'30"44 自己ベスト
順位	3/35	1/35	11/30	18/31

【レポート】

東日本実業団対抗駅伝競走大会も終わり、2月6日(日)に行われる埼玉県駅伝競走大会までは自己ベスト更新を目指して、個人レースで己の力を磨いていきます。

11月13日(土)の日本体育大学長距離競技会 10000mには親崎、小林の2名が出場しました。

2名とも駅伝時の好調さをキープしており、記録への期待が高まる中でのスタートでしたが、レース序盤はリラックスしたフォームで先頭集団の後方に位置し、レースの動向見据えながらの走りとなりました。

3000m 過ぎに集団のペースが落ちだすと、小林が集団を引っ張る展開となり、中盤以降の苦しくなる場面も親崎と協力し合いながらペースを維持し続け、8000m 過ぎに小林が一気にペースを上げ、親崎とともに集団を引き離しにかかる、ラスト1周を58秒台で走り切る爆発的なスプリントを見せ、自身初の28分台となる、28分59秒台の自己ベストでゴールしました。

親崎もラストこそ小林から遅れたものの、ラスト1000mを2分45秒台でカバーし、29分7秒台の3年振りとなる自己ベストでゴールしました。



記録に拘りレースに挑む親崎と小林



新電元歴代3位の28分台&29分1桁でのゴール！ 自己ベスト更新おめでとう！

翌日には 5000m が行われ、前日からの連戦となる親崎と関口が出場しました。

21 組目に出場した関口は大学時代の自己ベスト（14 分 37 秒）更新を目指して、積極的に先頭集団に食らいつき、3000m を 8 分 32 秒台の好ラップで通過すると、身体が固まり始めペースが落ち込みましたが、ラストスパートで落ち込み分をカバーし、14 分 30 秒台の自己ベストでゴールしました。

大学時代の記録を更新し、社会人としてのこれから活躍が楽しみになってきました。



大学時代の殻を破る自己ベスト更新！ これからの活躍に期待の関口

続いて 25 組目に出場した親崎は、昨日走った 10000m の疲れも見せず、5000m でも自己ベスト更新を狙って、集中した表情でスタート地点に立ちました。



集中した表情でスタートを待つ親崎

前日走った 10000m の勢いをそのままに、切れの良いストライド走法で先頭集団の流れに乗ると、4000m 過ぎの勝負処でもペースは落ちずに、そのまま粘り切り 14 分 10 秒台の自己ベストでのゴールとなりました。

2 日続けての自己ベスト更新となり、親崎の陸上競技に対する真摯な取り組みが伝わる素晴らしい結果を見せてくれました。



2 種目での自己ベスト更新！ おめでとう！！

今回は出場した 3 選手、全員が自己ベストを更新することが出来、あらためて東日本実業団対抗駅伝で得たチーム力が個人の強さとなって現れました。

1500m を得意とする小林が 10000m まで距離を伸ばして、新電元歴代 3 位の 28 分台をマークし、レースを外さない親崎も 5000m で 14 分 10 秒台、10000m で 29 分 1 桁の高いレベルでの自己ベスト更新、長い距離を得意とする関口も 5000m で大学時代の殻を破り、当社チームの勢いを感じさせる結果となりました。

この勢いを切らすことなく、「攻めの姿勢」で活動を継続していきたいと思いますので、今後とも皆様の温かいご声援をお願い致します。

以 上